

# ただ今公約達成中！ たしろ和誠 一般質問の記録！

25年へ

## 22年12月議会

- ① 明るい行政について  
「市役所＝市民の役に立つ所。」行政サービスの向上で市民の皆様に親しみやすい市役所づくりを提案。
- ② 子育て支援について  
今まで支援が薄かった、妊娠中のお母さんのために、メールを活用したお金のかからない、費用対効果抜群の施策を提案。

たしろが言い続けてきた  
出産一時金の引き上げ継続を決定！！  
38万円 ⇒ 42万円にUP

## 22年6月議会

- ① 就労者支援について  
小郡市にあるハローワークのPR強化と有効な活用方法を提案。
- ② 高齢者支援について  
高齢者の交流の場としてのサロン事業を行政サイドがコーディネートすることを提案。

初当選  
平成二十二年四月

## 22年9月議会

- ① 幼・保一体化について  
25年度に大きな転機を迎える子供・子育て新制度について、早い段階での対応と今後の準備を問題提起。子育てに特化した、「子育て課」創設を強く要望。  
**24年度「子育て支援課」創設**
- ② 高齢者の所在不明問題について  
全国的に高齢者の行方不明者問題が騒がれる中、小郡市で起こった孤独死、高齢者の見守りの強化について提案。
- ③ 市民農園について  
遊休地の新しい活用方法として市民農園を利用した最新のまちづくりを提案。(ホームページ掲載予定)

## 23年3月議会

- ① 国の23年度予算関連法案の成立遅れ及び不成立における市の対応について  
ねじれ国会により法案成立の遅れが懸念され特に期限切れが危ぶまれる、農業のボイラー用燃料の減税措置と小学校の1学年35人学級の国費負担分を問題にあげる。

国費が出なくても市費で賄い、生徒には影響の出ない最善策を確約！！

## 23年12月議会

- ① 入札制度におけるプロポーザル方式について  
単なる価格競争ではなく提案型のため、同じ価格でも様々な案が出され、一番良いものができる、「もの」ではなく「人」で選ぶプロポーザル方式のさらなる導入をするため基本的なルール及び体制づくりを提案。  
※プロポーザル方式とは、主に業務の委託先や建築物の設計者を選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。「プロポーザル (proposal)」は「企画、提案」の意味

## 23年6月議会

- ① 小郡市地域防災計画について  
東日本大震災の現地での教訓を胸に防災計画の見直しの遅れを厳しく追及、さらに備蓄の大切さを訴えと共に解決策を提案。  
**県の防災計画にそって早期防災計画見直しを決定！！  
25年から防災備蓄を開始！！**

## 23年9月議会

- ① 小郡市第5次総合振興計画について  
今でこそ当たり前になりつつあるECO事業実施計画のゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりについて再生可能エネルギーを取り入れたスマートシティ構想をいち早く提唱。さらに北九州市との連携を提案。

## 24年12月議会

- ① 1年前のプロポーザル入札制度の追跡質問
- ① 1年前の質問の回答を追跡。

25年度よりマニュアルを作成し、積極的なプロポーザルの積極的導入を開始！！

## 24年3月議会

- ① 地域主権改革一括法について  
地方分権から地域主権へと市独自で決められる部分が緩和され、条例改正の方向性を問う。
- ② 地域防災・地域コミュニティについて  
小郡市在住の職員が半分になる中、緊急時(地震・豪雨・凍結から火災など)の対応と消防団の現状をふまえ、屋間をカバーする市職員さんで組織する分団の提案まで踏み込む。

## 24年9月議会

- ① 子育て支援について  
保育料の公平性を高めるため算定区分を多段階化(5段階⇒10段階)すること、同時期入園の第2子以降の保育料無料を提案。
- ② 交通問題について  
増加する自転車事故とマナー改善の施策として自転車運転免許証制度・自転車登録制度を提案。

## 24年6月議会

- ① 小郡市地域防災計画について  
市の体育館の建て替えを見据え、日頃は消防団本部、災害時には対策本部兼総合避難所・備蓄倉庫などの機能を備えた総合防災体育館への転換を提案(ホームページ掲載予定)
- ② 省エネルギーについて  
原発停止しによる夏の電力不足、計画停電が予想され、停電時の対応を尋ねるとともに、緊急時のマニュアル作成を提案する。